

小4～

空気の汚れを調べてみよう

何人でも

2週間

野外

あおぞらを観察しよう

■概要

大気中のちりなどが多くなると、空気の透明度が下がり、遠くのものが見えにくくなることから、どのくらい遠くのものが見えるかを調べることにより、大気の汚れ具合を知る。

■ねらい

自分たちが住んでいる町の空気の状態を知る。

■準備物

- 観察場所を中心とした地図
- 記録用紙
- 筆記用具

■進め方

活動	時間	内 容	注意事項
準備	50 分	・学校の屋上や山の上にある公園など、遠くが見えやすい比較的高い場所を観察場所を選ぶ。 ・周囲を見渡して、できるだけ黒い建物で遠くにある目標物を、いろいろな方向にいくつか定める。 ・地図と見比べて、それぞれの目標物が何 km 程度離れているか調べる。	
調査	30 分 / 日 (2 週間～)	2 週間程度、毎日、正午頃に、肉眼で目標物がはっきり見えるかどうか観察する。 ・目標物の形や輪郭がはっきり見えたもので、一番遠くの目標物を記録用紙に記入する。 ・観察した日の天気を「晴れ」「くもり」「雨」「霧」「雪」の区別で記録用紙に記入する。 ・観察結果を集計する。集計は、「晴れ」と「くもり」の日の結果だけを平均する。	
まとめ	50 分	天気の違いにより観察結果が違ってくるかなど、気がついたことについて話し合う	

(授業の場合 準備 45 分 × 1、まとめ 45 分 × 1)

■引用元参考文献

環境学習～指導者向けプログラム集～（環境省編）

■解説

記録には、目標物の見える様子だけでなく、周りにあるものの様子についても記入する。

例) 近くに高速道路が走っている。近くに工場がある。